

部 会 だ よ り

◆青年部会◆

第176回研修会（海外＝上海）

中野法人会青年部会有志6名による海外研修会は8月29日からの3日間、昨年に引き続き、国際金融都市となった中国・上海で、主に上海に進出した日本企業との視察に時間を費やしました。

私自身、上海はもちろん、中国が初めてということで、率直に感じたことを報告したいと思います。

オリンピックの興奮冷めやらぬ中国、また、二年後には、上海国際万博を控えた上海……

「中国は凄いぞ～、ものすごい勢いで発展してるぞ～」と、人やメディア通じて得たイメージ通り上海空港から、上海市街までの移動中バスの中で幾度となくそれを感じるようになります。

先ず、高速道路を走っている我々のバスの横をもの凄いスピードで追い越していくのは、リニアモーターカーで、最高時速130km/hで空港―上海市街40kmの距離をたった7分で結んでいます。（帰りには乗車しました、本当に速かったです。）

また、市街地に近づいて行くにつれ、高層ビル・高層マンションが、東京の比にならないほど密集し建っていることです。ちょうどその日、101階建ビル、世界最高高さ492m、パークハイアットがオープンし一般公開されており、TVCMでもおなじみの球形のタワーと共に、上海の新名所になっています。

中学で習った、「発展途上国・中国」は、上海にはもうありません。とにかく凄い!!

そして、最初の日本企業訪問先は、先ず、精密測定機器トップメーカーの(株)ミットヨです。

日本の技術を中国で生かし、生産し「メイドインチャイナ＝(イコール)メイドイン ジャパン ミツ

(株)滝口商店 滝口 智

トヨ印」が成り立っているとの事です。その技術力は素晴らしいものだと思います。

日本企業が中国に進出し運営するには、中国との貿易の縛りや様々な苦労があったようです。また、中国人との契約や給与、法人税、中国での生活などの質問に対し受け答えしていただき、大変興味深い生の声が聞くことができました。

次に中野法人会、アサマコーポレーション(株)の上海金山工場、建設現場の見学もさせていただきました。

上海金山は、世界より様々な異業種企業が集まる工業団地として、中国政府もかなり力を入れているようです。

工業団地の施設はもちろん、福利厚生施設等まで充実した計画になっています。

実際に、工業団地を管理している中国の方々に熱烈な歓迎を受け、いろいろと説明をしていただきました。

個人で「中国観光」しただけでは、なかなか聞けない貴重なお話をたくさん聞くことが出来ました。

今回の研修で日本が中国に進出することは、日本の常識、技術だけでは通用せず様々な知識がなくては、なかなか難しいことが分かりました。

中国上海街中で見られる「明」と「暗」、貧富の差、特許・著作権問題等、中国も今後発展していくには、まだまだ問題もあるとかと思います。

規模・マンパワー・生産力では、日本は中国にかなり押されていますが、日本の「技術力」「勤勉さ」は常に世界の最先端を追及している、追及できる国と信じて、今後の日本での自分のあり方を考えさせる有意義な研修会であったと思います。



新天地を散策



海鮮料理で乾杯



アサマコーポレーション様 上海工場前



金山工業区の全体模型を前に説明を聞く



金山工業開発の方達と昼食



外灘観光



豫園で記念写真



リニアモーターカーに乗って



ミットヨ上海支社の前で